

JAL、中国東方航空との貨物便コードシェアを開始！

2003年1月23日

第 02039号

JALグループのJALと中国東方航空(本社:中華人民共和国上海市、社長:李 豊華、以下CES)は、昨年9月1日より開始した旅客便でのコードシェア運航に続き、成田＝上海線において貨物便でもコードシェア運航を行うことで合意し、今般日中両政府の認可を受けて、2月1日より開始することと致しました。

上海を中心とする華東地区は、1990年代後半より、繊維、自動車、家電、半導体等の幅広い分野での多くの外資企業進出による産業の急速な発展により、航空貨物需要も右肩上がりの成長を続けています。こうした華東地区の旺盛な航空貨物輸送ニーズにお応えすべく、JALの貨物事業であるJALCARGOは、成田＝上海線で、1998年4月より週間1往復での貨物便定期便の運航を開始し、それ以降、2002年4月に週間2往復に増便、更に11月には週間3往復へと順次増便して参りました。この度のCESとの貨物便コードシェア運航の開始により更に週間2往復増え、成田＝上海線で週間5往復体制が実現することとなりました。

運航機材は、JALがB747-200型貨物機、CESがMD11型貨物機で、毎週水曜日から土曜日まで毎日、両社が交互に1往復運航します。これにより、火曜日のJAL単独運航便と、成田、名古屋、関西、福岡と上海間を運航している週間33往復の旅客便下部貨物室と合わせて合計週間38便の運航となり(従来週間36便)、日本と上海を結ぶ航空貨物輸送のスペース拡大と、スケジュール面での更なる利便性向上が図られることとなります。

2001年末のWTO加盟以降、中国における航空貨物市場は拡大の一途を辿っており、今後も順調な需要増が見込まれています。JALCARGOは、戦略的グローバル・アライアンス「WOW」ブランドの下、今後ともネットワークの拡充とサービス品質の向上に努め、中国市場においても、マーケット・ニーズにお応えする商品をご提供して参りますので、ぜひご期待ください。

【成田＝上海線コードシェア貨物便】

運航曜日・便数	水・木・金・土 週間4往復(JAL運航・CES運航 各2往復)					
運航開始日	2003年2月1日					
使用機材	JAL運航:B747-200型貨物機 CES運航:MD11型貨物機					
運航ダイヤ (現地時間)	JL6781便 (水 金)	JL6681便 (木 土)	往 復			JL6782便 (水 金)
	CES運航	JAL運航	路 路			CES運航
	13:55 ↓ 16:00	10:55/10:30 ↓ 13:15/12:50	発	成 田	着	12:55 ↑ 08:55
			着	上 海	発	19:25/19:00 ↑ 15:55/15:30

※なお、成田＝上海線貨物便は、コードシェアの4往復に加え、JAL単独運航が1往復(火曜日B747-200F型貨物機運航JL6681便 成田10:55発/上海13:15着 JL6682便 上海16:00発/成田19:30着)あります。

以上